

木馬会会報 (第62号)

＊マイルCS特集＊



96/11/14

～木馬達の予想～

本誌 トウインクルダンディ

マイルCS

◎エイシンガイモン ○スギノハヤカゼ

▲フジノマッケンオー、ビコーペガサス △ジェニュイン

マイルの王者決定戦としては手薄なメンバー構成で、TP氏のいうとおり何が勝ってもおかしくないし何が勝ってもおかしいレース。

古馬のなかにトロットサンダー、ノースフライト、ダイイチルビーのような名マイラーがまったく存在しないだけに、来年人気になる前に4歳馬で名マイラーになる資格のある馬から先物買い勝負。そこでスギノハヤカゼと思ったが、スワンSはあまりにもはまり過ぎ、今回はそれなりの人気になると思うが、人気ほどの価値があるかどうか非常に疑問。そこで人気薄エイシンガイモンに◎。休み明け2戦めでもあり、関屋記念のような快勝を期待。

古馬では、むらだが力はあるフジノマッケンオーが1番手。武がどんな手綱捌きを見せるか。スワンSを見る限り調子落ちとも思えず、はまれば、ビコーペガサスには1/2ハロン長いと思うが、6歳になり多少の距離延長は克服可能か。京都には的場が似合うし。本来の調子を取戻していればジェニュインも怖い。主戦岡部に戻ってどんなレースをするか。

しかし出走できれば最も怖いのがやはり4歳馬マサラッキ。スワンS出走馬で1番味のあるレース（私の正直な感想）をしており、そのときはジェニュインを落して以下繰下げにしてください。

こだわりの“へな”

マイルCS

◎…サクラスピードオー ○…フジノマッケンオー ▲…ビコーペガサス

△…ショウリノメガミ シンコウキング エイシンガイモン スギノハヤカゼ

…“へな”の理屈…

ついに本紙から滑り落ちてしまった。2週もつづけて“こだわって”しまっただけで済むのか。さあマイルCS。トウインクルダンディ、おけらくん、四国の井崎さん、ミスターXの4人から「スピードオーかい？」と週の始めから言われてしまったが、やっぱり今週も皆さんの期待に答えてサクラスピードオーに◎を打つことにする。断っておくが、決して単純に好きな馬＝本命という訳ではない。好きな馬で、しかも強くてメンバー的にチャンスのある馬＝本命なのである。前走のスピードオーは中団から差してきたの4着。思った通り、逃げなくても鋭く差してこれる馬であった。（デビュー戦もそうだった。）「どんな競馬でもできる＝どんな流れにも対応できる」というのは最大の強みであり、春にバブルガムフェロー・ダンスインザダーク（引退してしまいましたがね、残念です）等の強豪と戦ってきた経験は初の古馬G1でも決して劣ることはない。例年よりやや小粒な今回のメンバーなら期待に答えてくれる可能性は高いだろ

う。休養明けの京王杯AHこそ惨敗してしまっただけで、春に比べ確実に成長しているのは間違いなく、今年の秋もケイザンオー共々追いついていきたいと思います。相手は1600なら的場ペガサスよりも武フジノマッケンオーで勝負。ジェニュインは前走をみると岡部様でも3着が精一杯のようで今回は思い切って無印。それなら連闘でもシンコウキングや関屋記念を勝ったエイシンガイモンのほうが面白い。

うれしい事が一つ…菊花賞で本命にした大好きなサクラケイザンオーが晴れてJCに出走できるようになりました。おそらくブービー人気程度にしかならないでしょうが、私のJCの本命はすでに決まりました！来週も楽しく“こだわり”ますのでよろしくどうぞ。

栄蔵の1番弟子 TP

マイルCS

◎…ショウリノメガミ ○…ビコーペガサス ▲…フジノマッケンオー

△…スギノハヤカゼ、ビコーアルファ、エイシンガイモン、ジェニュイン

～たかPの屁理屈～

どれが勝ってもおかしくないし、どれが勝ってもおかしい。G1馬じゃない。こんなメンツなら、穴を狙ってみよう。嵌まったときの末脚には凄みを感じるショウリノメガミ。G1馬の貫禄のないビコーペガサス。詰めの甘いマッケンオー、ビコーアルファ、ガイモン。当てにならない外国馬スギノ、タイキ、ファビラス。こんなの狙えないでしょ。

新人 ライスシャワシャワ

ライスシャワの予想はよそう!?

気付いてみれば、破竹の4連敗。平場のレースやつまらない特別は当たるのですが、どうやってもメインが当たらない。そろそろ当てないと死になりそうで…

秋華賞に始まり先週の伊丽莎白女王杯まで軸となる馬はいたが、今週はどの馬も軸にするほど信頼性もないし、なかなか難しいレースとなりそう。昨年を除いて1番人気の馬が必ず連に絡むといった比較的堅いレースであったが、今年も昨年ほどとは言わないまでも、軸馬不在で穴模様。

本命は、◎サクラスピードオー。7番手、ワソソあたりがやや早い位のペースでレースを引っ張るはず。その直後にいるであろうスピードオーの好位抜け出しに期待する。ここ2戦逃げずに（先に行けなくなったわけではないだろうが）、差すレースをしている。前走は正直メンバーを考えても勝てなかったが、7番手から差すことができたのは収穫。今回はそんなに人気にもならないだろうから、気楽に頑張りたい。

相手には、距離不足は認めるとして、○ナリタキングオー。天皇賞では密かに期待していた馬でもあるが、休み明けがたり、直線馬群に沈んだ。今週号のギャップで中間上昇著しいというコメントを信じる。昨年の京都新聞杯のようなレースをしてくれば、2着は確保できる。

さすがにこの1点というほど、強気にはなれず、H-加とはいえ古馬を相手に差し切り、マイターとしての素質を感じるイシが、1叩きの効果で馬体も絞れて逃げ粘りそうなヒシアケボノ、何だかんだ言っても2着には来るビコーペガサスまでを押さえる。

読者投稿 ペンネーム【ふえら】

こんにちは、はじめまして。いつも木馬会の新聞を楽しく読まさせていただきます。その感想をどうしても皆様に伝えたくて投稿しました。

四国の井崎さん、一番弟子さん、いつもいつも勉強させてもらっています。その知識、その分析すばらしいとおもいます。僕もあなれたらいいなと思っています。トゥインクルさん、ジュワイ何とかさん、最近の的中率は素晴らしいですね。これかも頑張ってください。

ところで、ミスターXとかいう人いますよね。あの人はひどいですね。会えるものなら会ってみたいです。あの人はきっと木馬会のお荷物なんだと思います。皆さん違いますか？でも、はさみとミスターXは使いようで、僕が予想をたてるとき、Xさんとはダブらないようにします。そうするとあたるんですね。これが。おかげでこんな僕でもG13連勝です。だから、どんなにお荷物になっても切り捨てないでください。お願いします。

さて、今回先生方に僕の予想を評価してもらおうと予想してみました。どうでしょうか？（ミスターXさんとダブリませんように！）

◎ジェニュイン ◎ヒシアケボノ

△ビコーアルファ、ビコーペガサス、ドージマムテキ

予想した理由

- 1、強い馬がきっと勝つ。
- 2、ギャロップの写真を見て良い体だなと思った。
- 3、騎手でえらんだ。

予想はウソよ 四国の井崎

森田さんの結婚式にあわせてダンスパートナーが勝ち、なんだかか武騎手結婚の時のオークスの勝利みたいです。とにかくおめでとうございます。末永くパートナーとお幸せに。

マイルチャンピオンS

さて降着がなければエリザベス女王杯の2着はヒシアマゾンで、私のタイムベースの抜けた2頭で決まってきましたよね。しかも2頭ともG1馬。また残りのG1馬ホクトペガも4着でした。振り返って見れば、天皇賞もG1馬の1、2、3着、菊もG1連対馬の1、2、3着。ここも素直にG1馬から勝ち馬が出ると考えましょう。G1実績とタイムベースの両面にらみで予想します。

G1勝ち馬 ジェニュイン、ヒシアケボノ、ファビラスラフィン

G1連対馬 ビコーペガサス

四国の井崎式500万クラスベース時計分析結果では、やはり混戦ですが上位5頭は、

A:ジェニュイン B:ビコーペガサス C:ヒシアケボノ

D:ファビラスラフィン E:ベストタイアップ

でもって私の予想は以下のとおり。

◎…ジェニュイン ○…ファビラスラフィン

△1…ヒシアケボノ、ビコーペガサス △2…マサラッキ、フジノマッケンオー

4歳の新設G1は1枚格落ちと思うので、やはり皐月賞馬ジェニュインが筆頭になる。前走天皇賞でも期待したが、パドックをみて失望した。とても走れる状態ではなかった。よってあの惨敗は度外視する。鞍上もなんと岡部様になって（人気になるのが辛い）信頼できる。1600mはベストの距離。これまで順調に使われていないが、今回は毎日王冠惨敗後の天皇賞2着のパターンとよく似ており、狙える。唯一問題は雨だけだが、天気は心配なさそう。

ファビラスラフィンの長浜調教師はマイル戦の評価が低いのかなあ。ジャパンカップにも色気を持っているみたいだけれど、牝馬はやはり1600mまでが牡馬と対抗できる限界だろう。是非ここを使って最優秀4歳牝馬の栄冠を取ってもらいたい。レースぶりも競ってつぶれたNHKマイル以外は実に安定している。強さを感じさせない強さを持った馬だと信じたい。

デブケアは1600mの距離が微妙。ひと叩きで一変まではどうか？叩いて叩いて、良くなれば長続きする馬だ。安田記念の好走は叩き3走目の好走であった。12月のスプリンターズSこそが絶対の狙いだ。ただしG1馬の底力は安田記念で見せているだけに無視はできない。

ビコーペガサスは1200mG1で3回の連対。昨年1人気だが、1600mではデブケアと同じくほんの少し足りない。勝つまではどうかなあ。特注は前走「勝った！」と思ったマサラッキ。2頭が併せ馬でやってきたから差されたが一番強い内容であった。出走が微妙だけに出てきた場合は注意が必要。

マイルCSは前走1人気がよく連対している。今回はほとんど該当馬がおらず、フジノマッケンオーぐらいであり連下に押さえは必要。

G1勝ち、タイム（B評価）、前走1人気のすべてをクリアするタイキフォーチュンが出てこないのが実に残念である。

第13回 マイルCS

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
		フジノマッケンオー	シエイクハンド	フジノマッケンオー	ビッグショウリ	ヒシアケボノ	ビコーペガサス	ビコーアルファ	ハギノリアルキング	ニホンピロプリンス	ナリタキングオー	ドージマムテキ	スギノハヤカゼ	シンコウキング	ショウリノメガミ	ジェニュイン	サクラスピードオー	クラウンシチー	エイシンワシントン	エイシंगाイモン	馬名
				▲			▲						○			△				◎	トイカガディ
				○			▲						△	△	△		◎			△	へなりん
				▲			○	△					△		◎	△				△	TP
				△		△	△						◎		△	○	▲				ジュイ助丸
						△	▲				△		○		△	◎	△				おけらくん
				▲		○	△					△	△			◎	△				YO
				△			△	△					△		△	◎				△	にーフレズ
				△			◎			△		○	▲								心配御無用!
				△			○				▲						◎				たりのラッキー
				▲			◎							△	△	○	△			△	ミスターX
							▲	△					○	△		◎					ラッキー
						△	△				○						◎			▲	ライスシャワー